

相模川の石ころ

磨いてみた

水に濡れた石の肌はきれいですよね

いつも、その「濡れ色」を見たくって

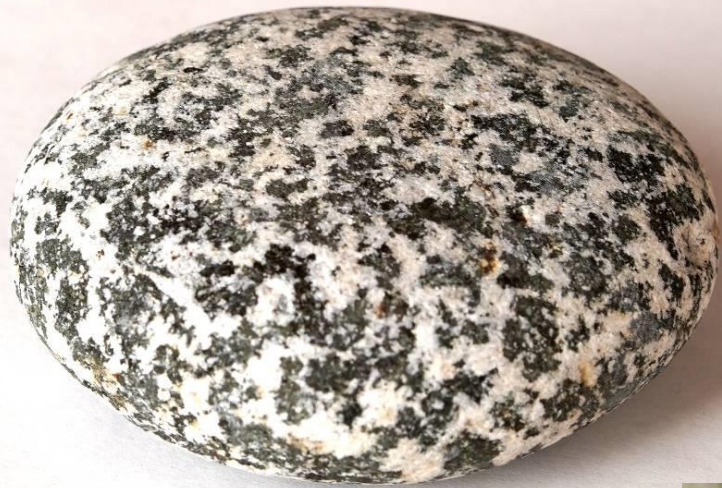
ペーパーウエイト作りも兼ねて

底面を磨いてみました

また新しい景色が見えてきました

2022. 12. 26

島田祥生



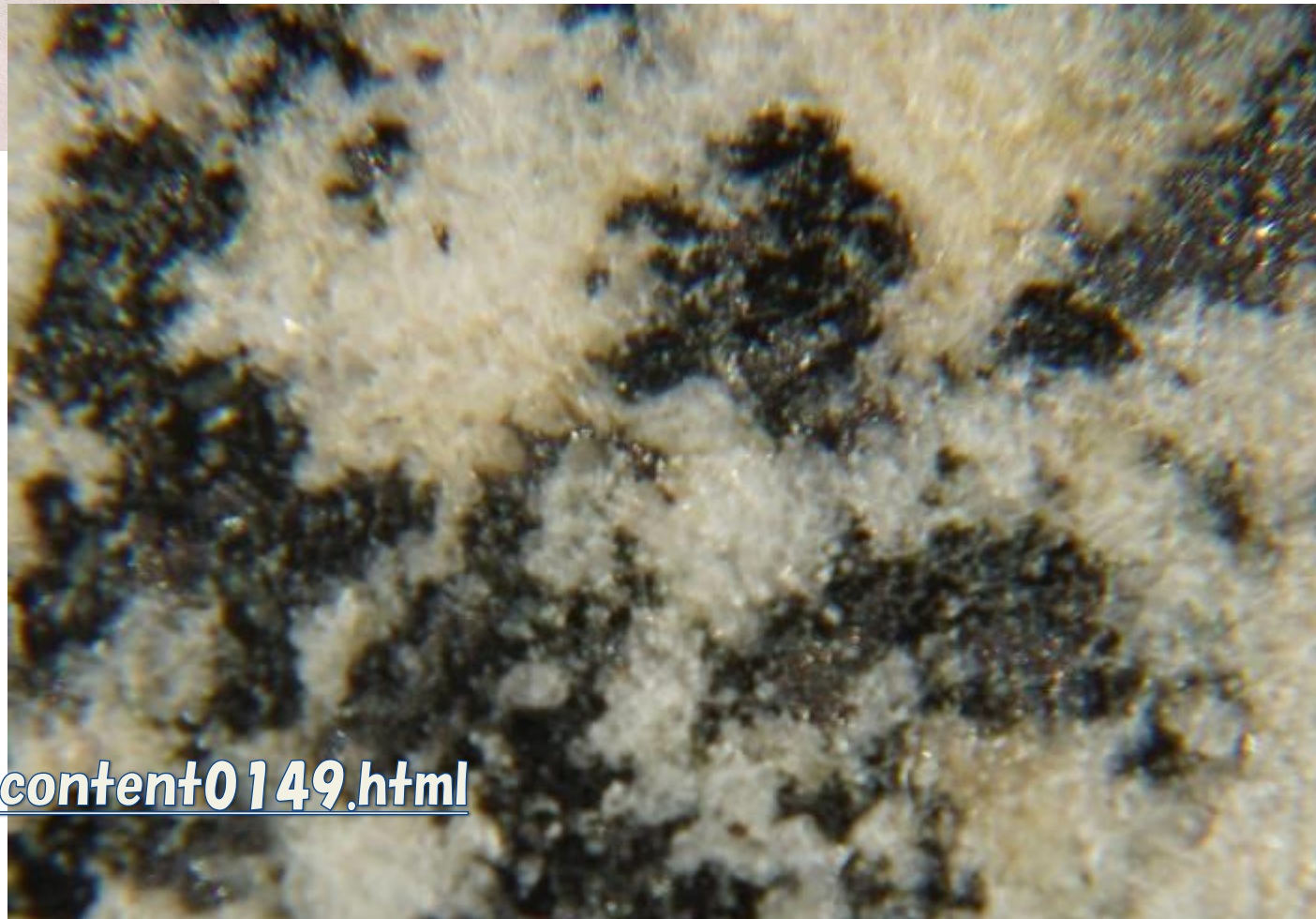
花崗岩の一種で、

「石英閃緑岩」

この石は、「トータル岩」といって

神奈川県の花崗岩です

<http://geosociety.jp/name/content0149.html>





「安山岩」

白い斑晶は、

「斜長石」だそうです



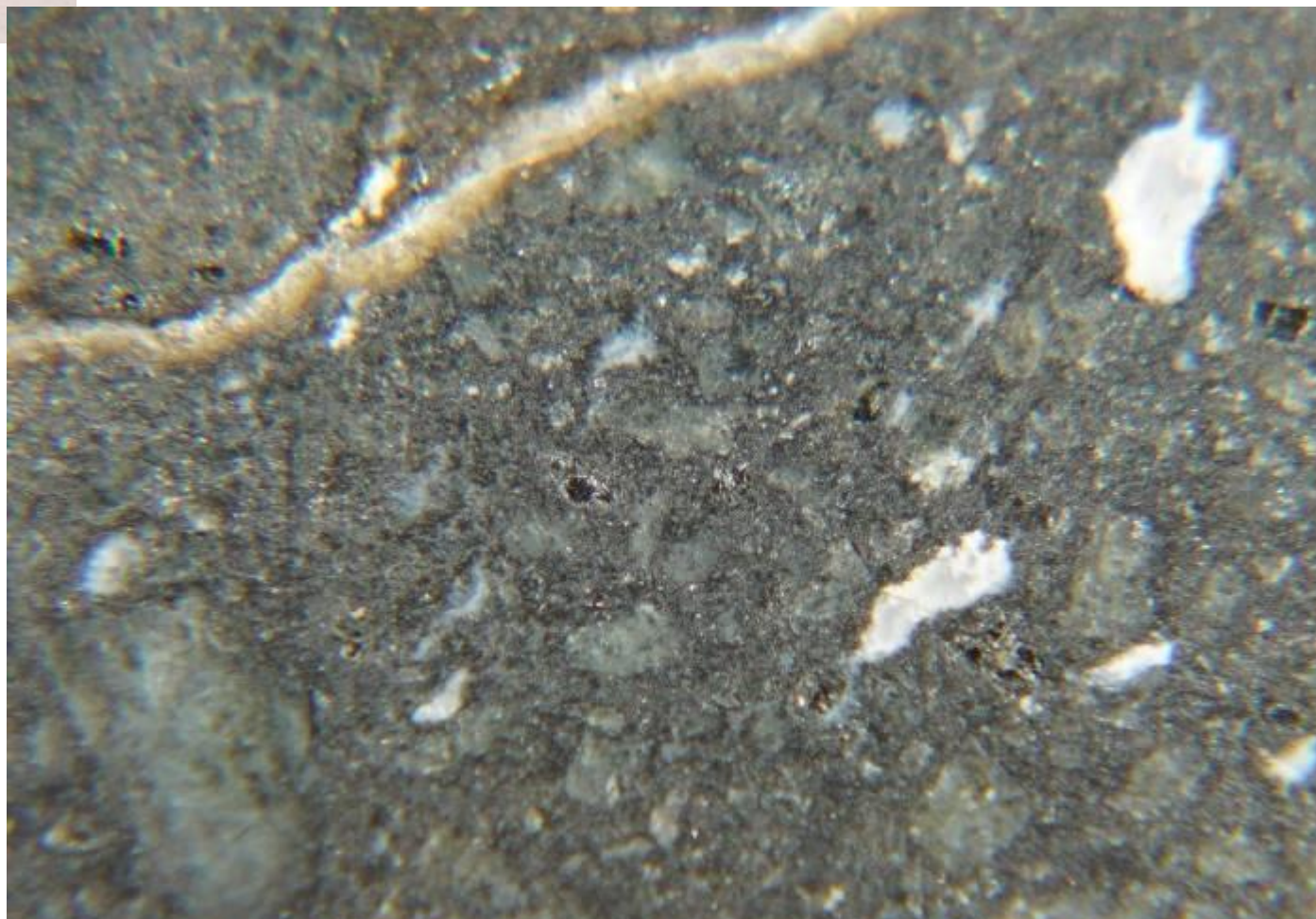
白い脈が目立って

気に入りました

「閃緑岩」らしい

白い脈は、

ガラスの主成分の石英





荒い砂粒で
白色、褐色、黄土色、
黒色、灰色など
さまざまな色の違う
砂粒が混じって
堆積して石になった
「砂岩」





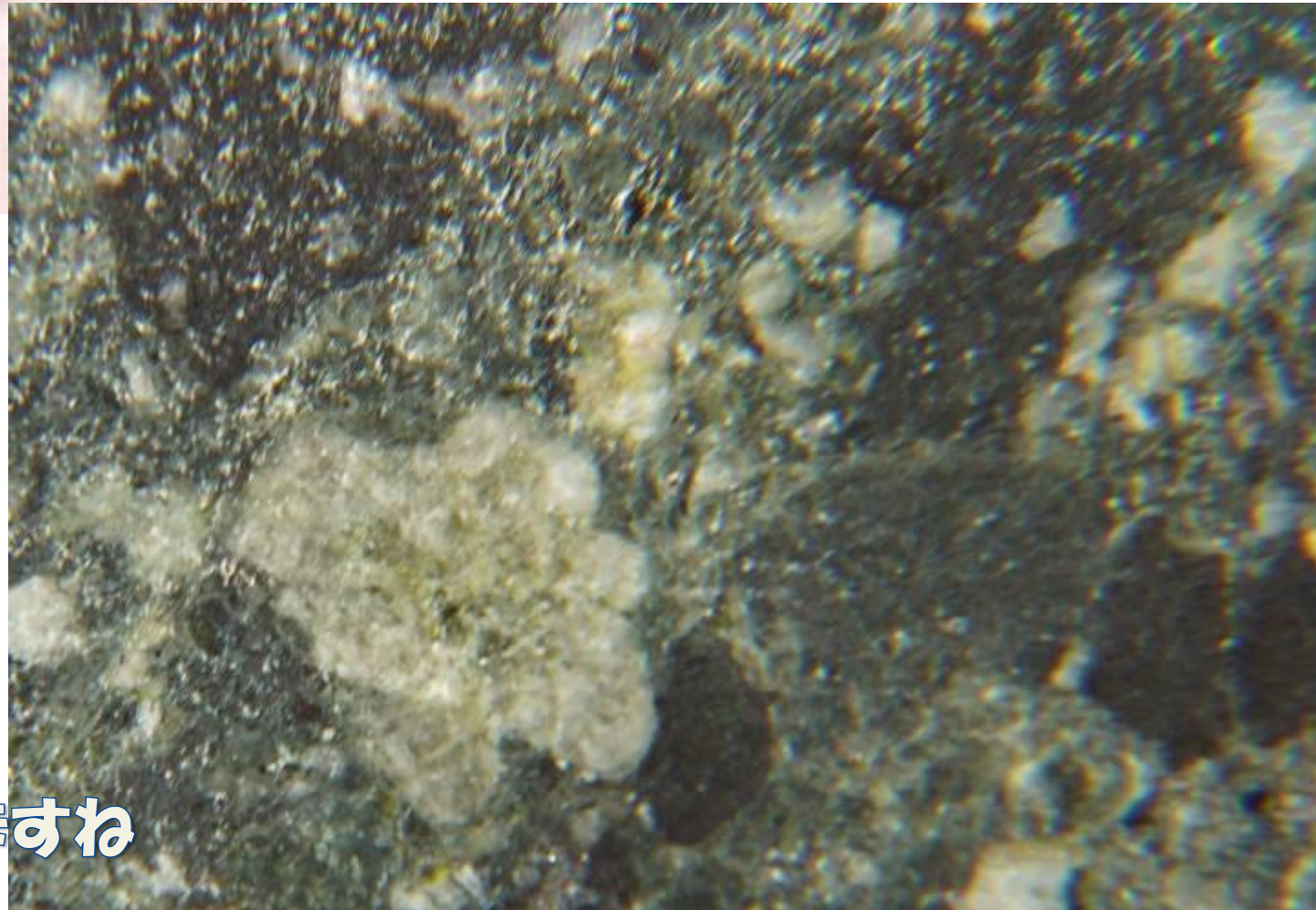
堆積岩の仲間

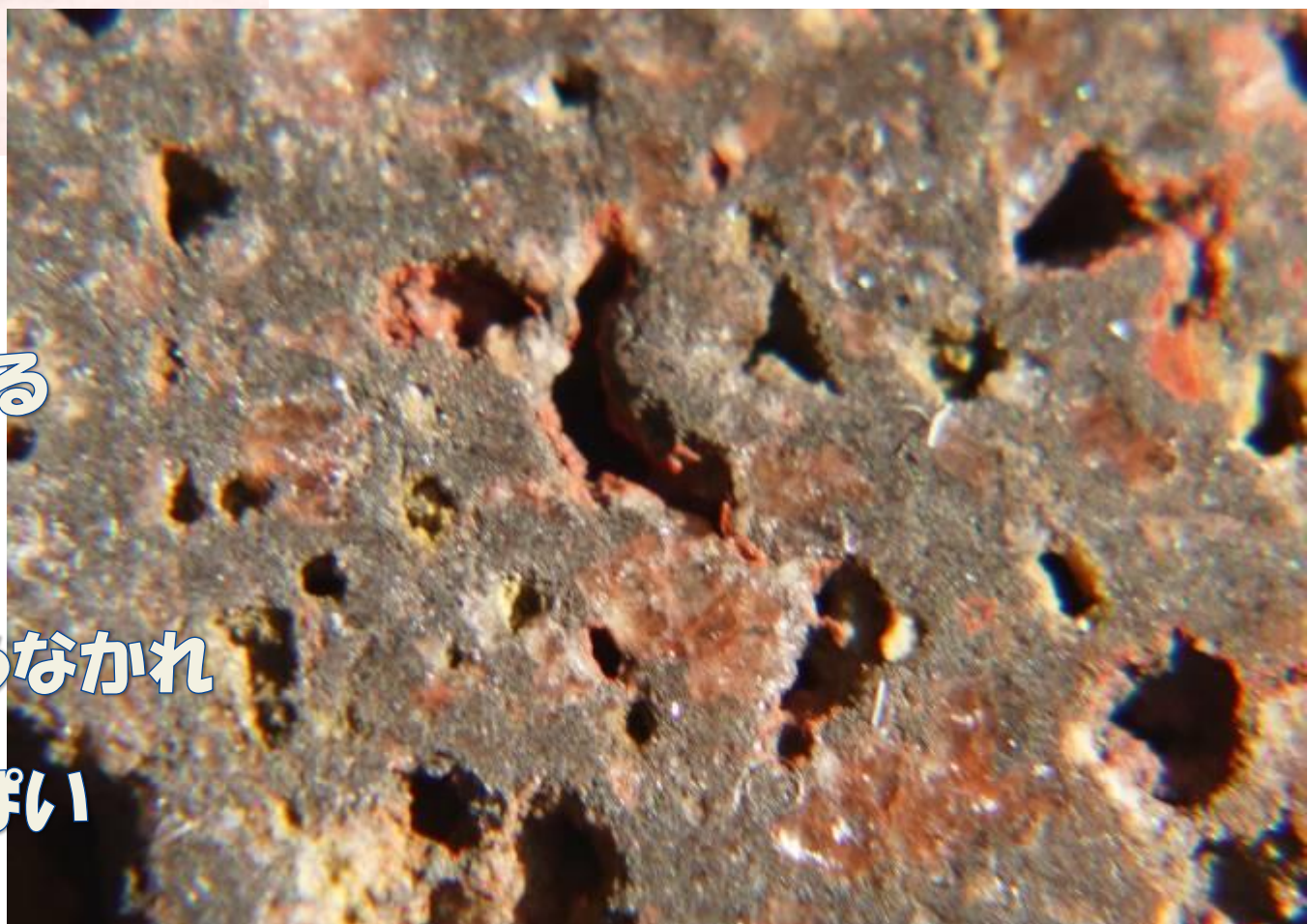
「礫岩(れきがん)」です

色も形も違う石片が

混じっていて

何故か見入ってしまいますね





小さい穴が無数にあいている

「玄武岩」

「ただの石ころじゃん」というなかれ

ルーペで見ると結晶がいっぱい



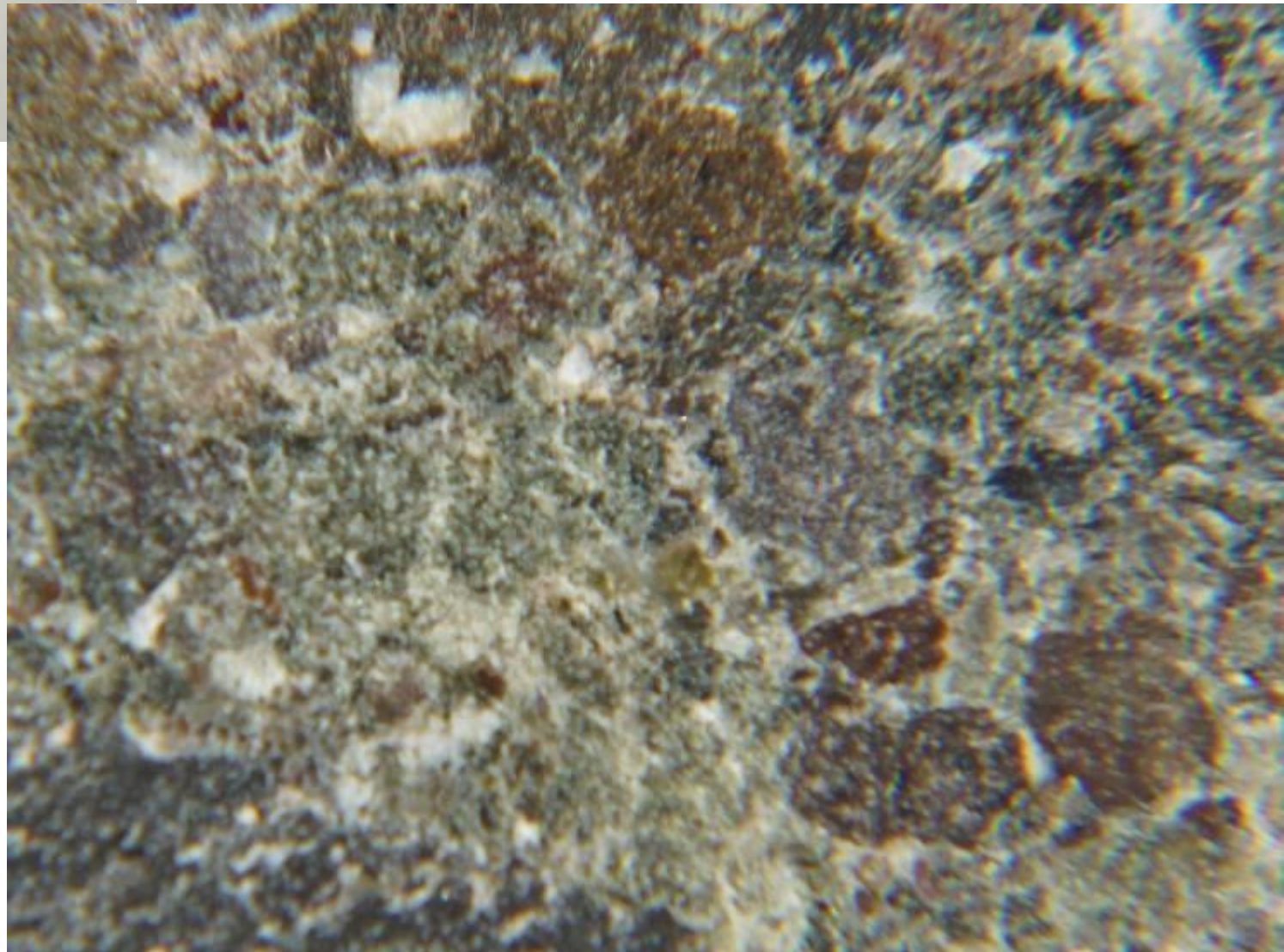
「堆積岩」

こんな大きな礫も

入っている

どうやって混ぜ

合っただろう





「角ぼっていますが、

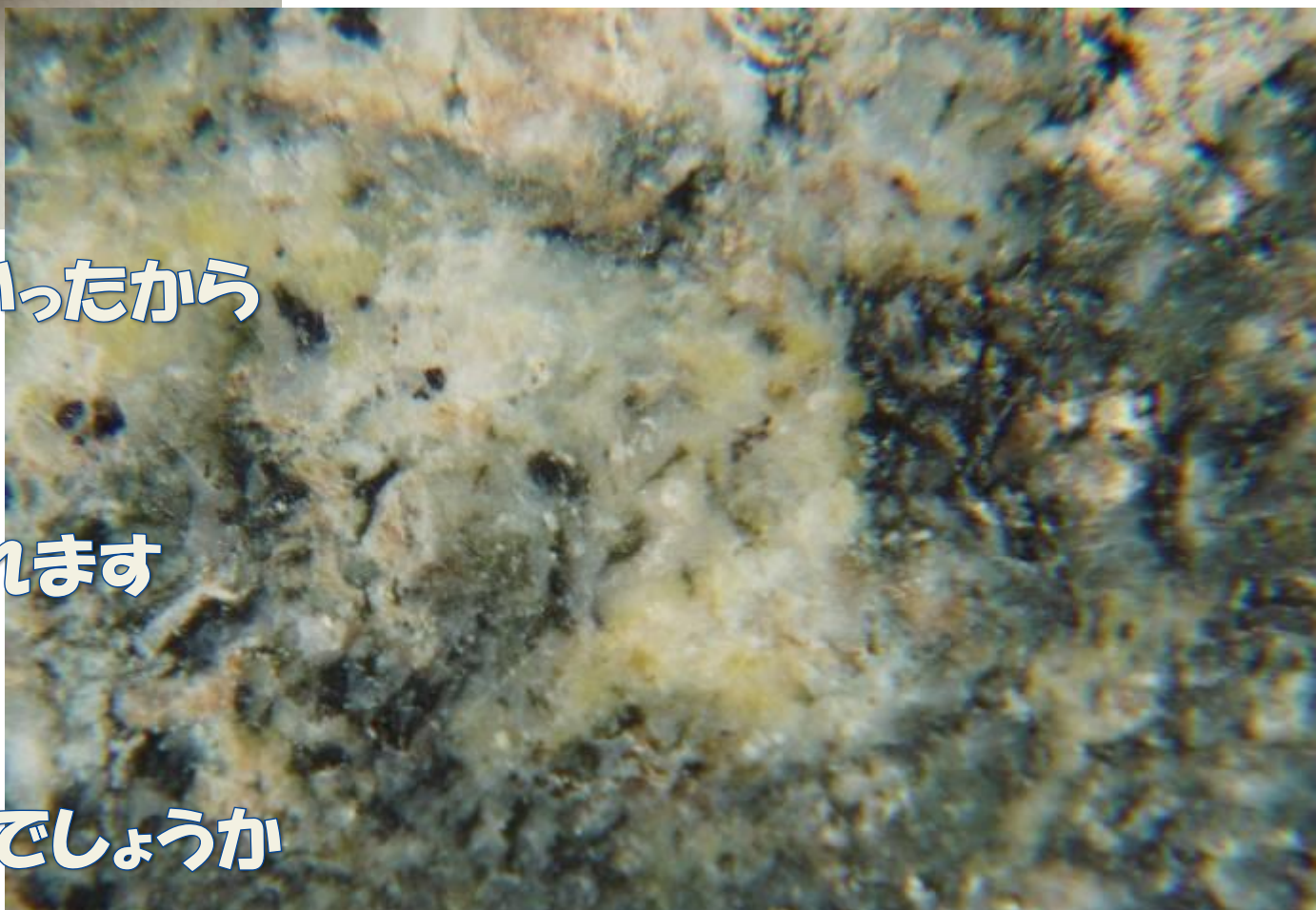
「石の目」に沿って割れていったから

まるい、扁平、角々など、

石の成り立ちが垣間見られます

堆積岩の一種の

「軽石質凝灰岩」ではないでしょうか





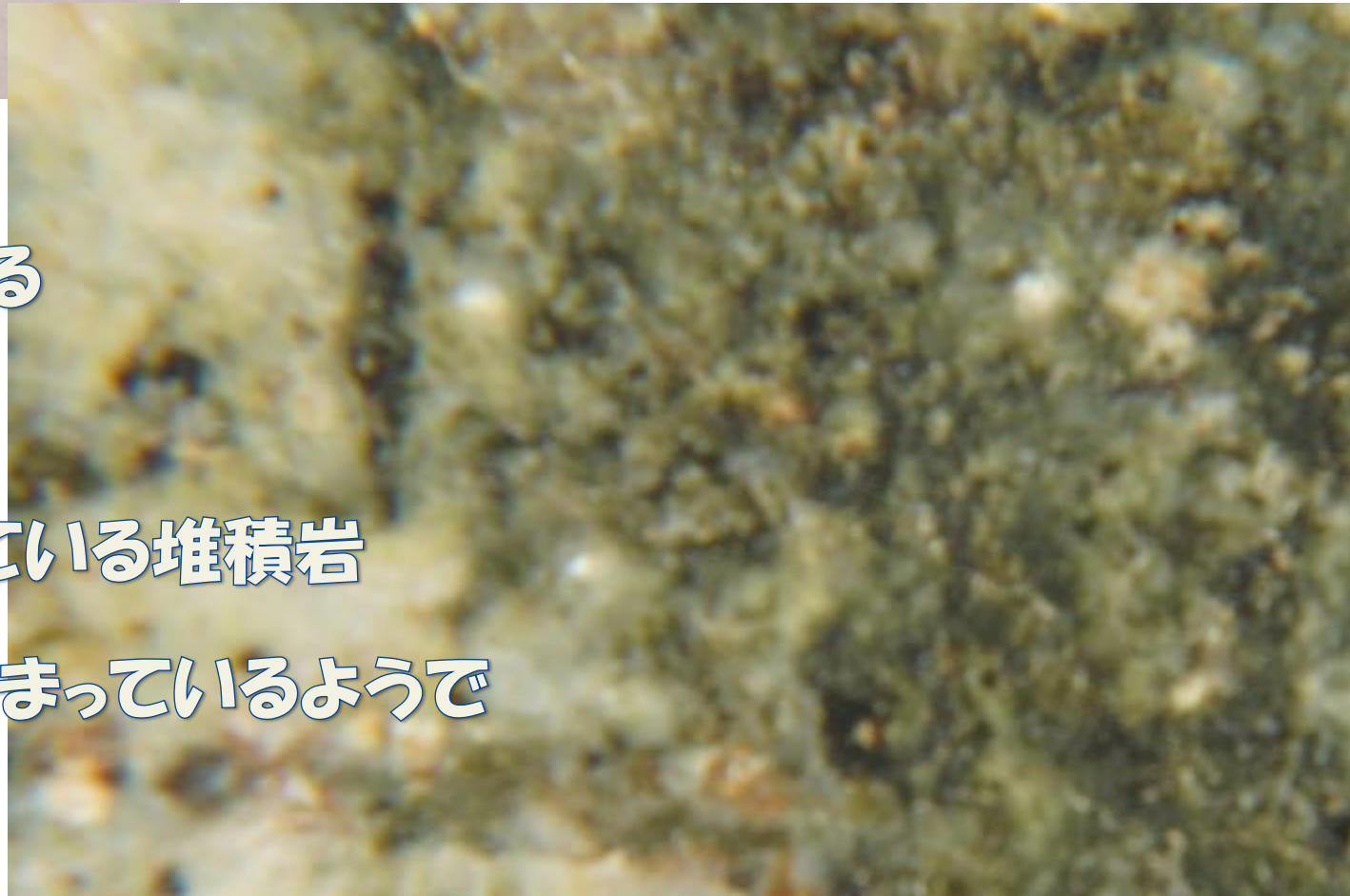
とにかくざっざっしている

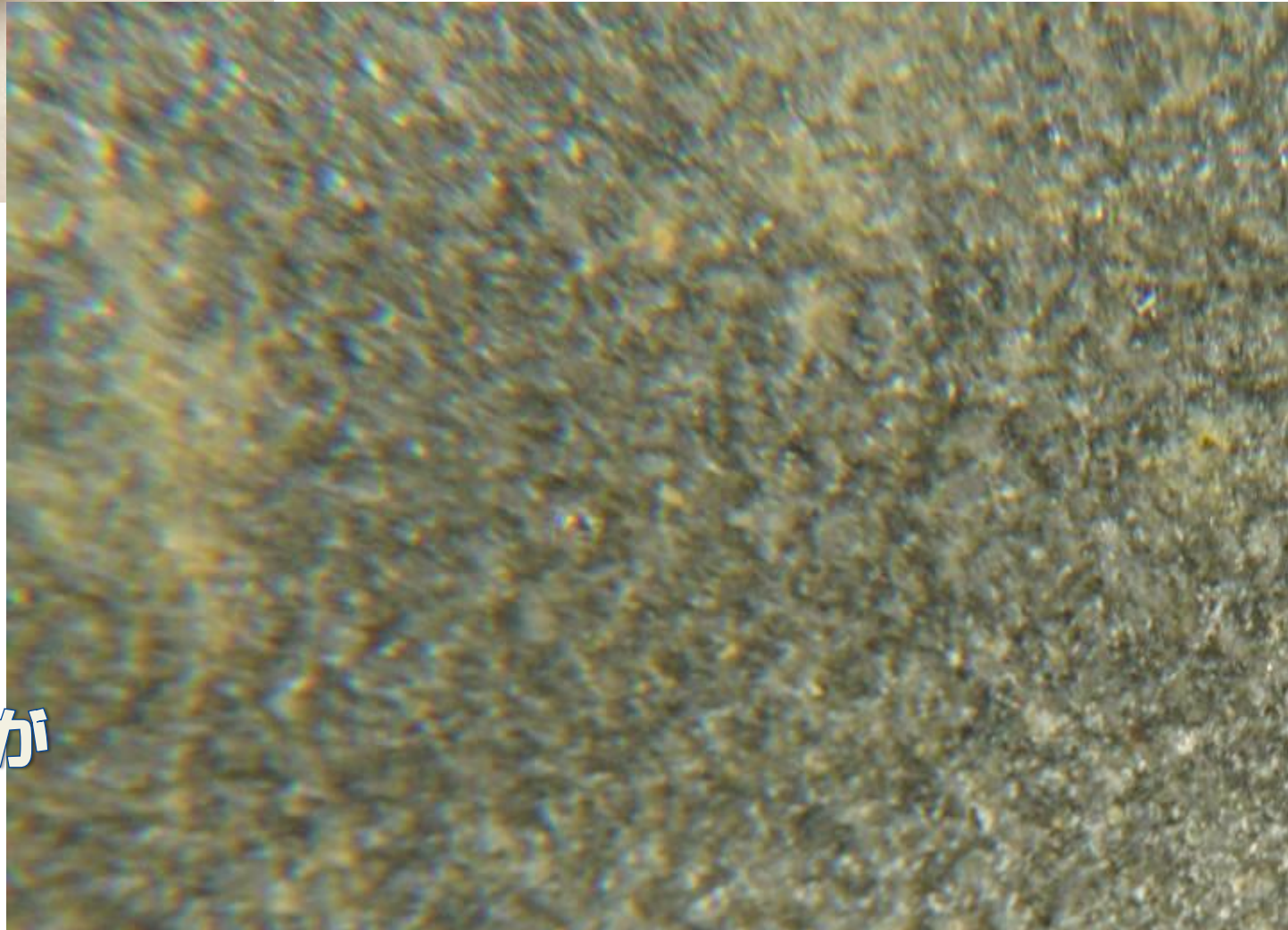
「火山礫凝灰岩」

火山灰と火山礫でできている堆積岩

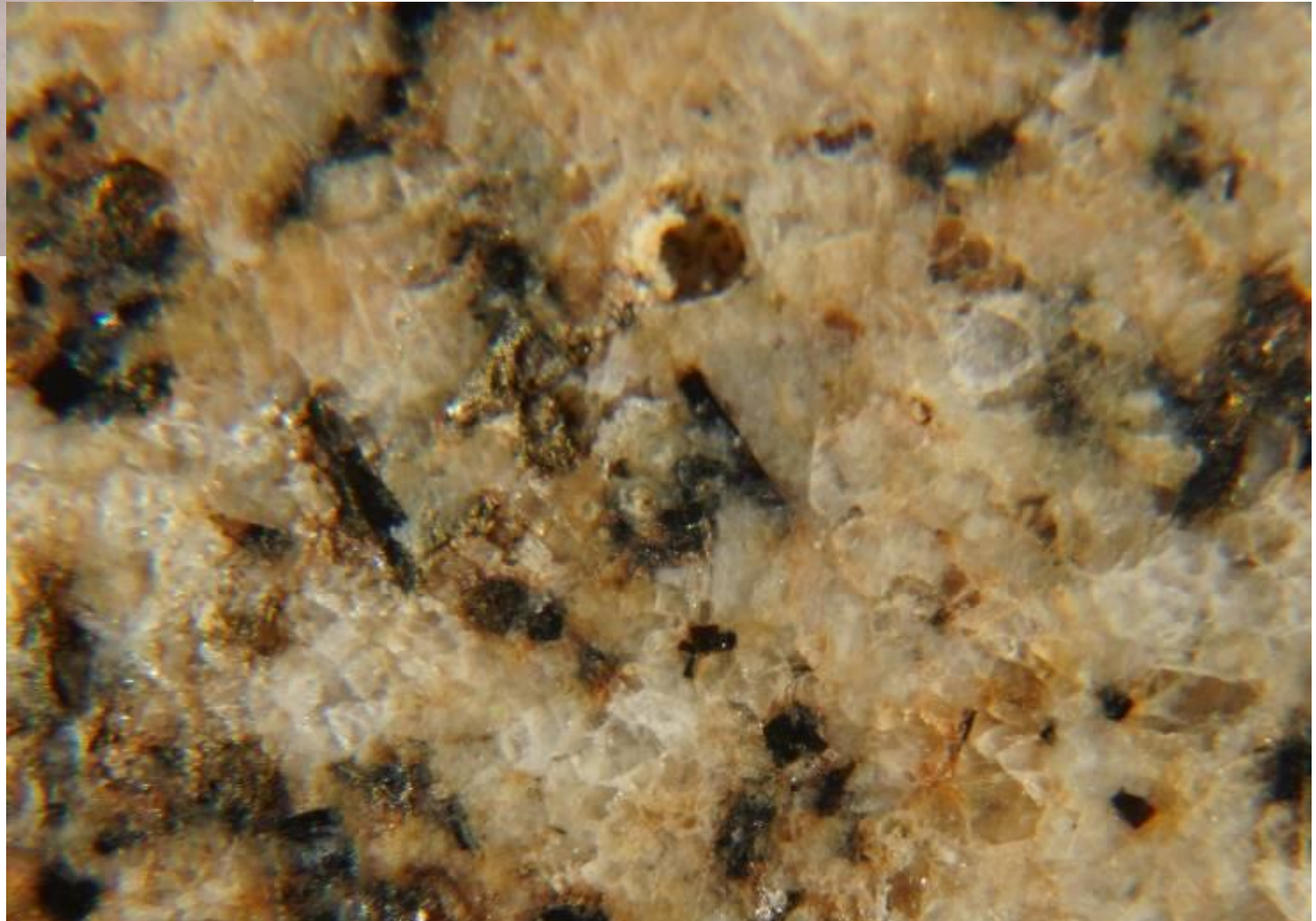
よく分からないものが固まっているようで

眺めていて飽きない





石英の脈が入ってる
「石英閃緑岩」らしい
火成岩にはこのような
石英脈が入っているものが
珍しくない



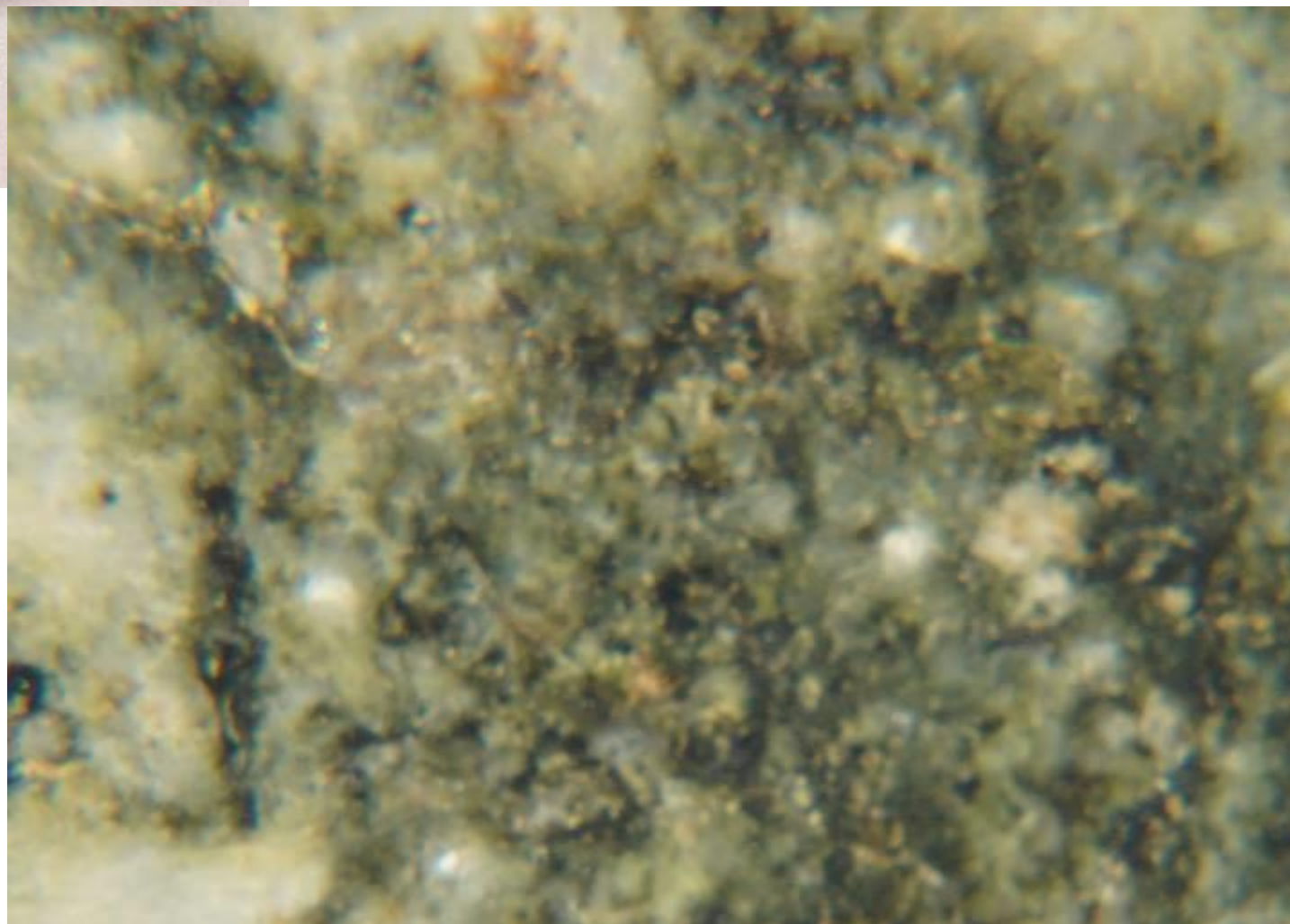
これも「石英閃緑石」

ルーペで見ると

結晶がきれい！



ペーパーウエイトに
使っている「閃緑岩」
下面を耐水ペーパー
#2000で仕上げ
石の「濡れ色」も
楽しんでいきます





道に転がっていて

無意識に蹴飛ばしていた石ころ(今はあまい無いか)

でも、川原で見つけた石ころは、妙に引き付けられますね

少し手を加えると、ますます愛おしくなってしまう

石って、何か、パワーを持っているような

あなたも、手元に一つ置いてみませんか

※マクロ(接写)レンズに 10倍のクローズアップレンズを付けて

ちょっと強引でしたが、まあまあの出来と自画自賛

※参考&引用:「川原の石ころ図鑑」ポプラ社